

選挙の記録

令和2年7月5日執行 東京都知事選挙



江東区

東京都知事選挙

<公営ポスター掲示場>



<投票所風景> 第14投票所 平久小学校



<投票所風景> 第27投票所 香取小学校



東京都知事選挙

<区ホームページ画像>



<開票所風景>開票管理者・開票立会人による投票箱の空虚確認作業



<開票所風景>ホテルイースト21



は し が き

東京都知事選挙（以下「都知事選」と略す）は6月18日告示、7月5日投・開票で行われました。

立候補者数は、前回より1人多い22人で、都知事選における立候補者数としては歴代最多の人数となりました。

令和2年1月16日に新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認された後、日本全国に感染拡大が続いたことから、4月7日に東京都を含む7都府県を対象とした政府による緊急事態宣言が出され、その後4月16日からは全都道府県を対象となりました。5月25日には5都道県で最後に宣言が解除されたものの、予断を許さない状況下での選挙執行となりました。感染症対策については、東京都選挙管理委員会が作成したガイドライン等を踏まえ、本区も投開票において様々な対策に取り組みました。

また、今回の選挙の争点としては、新型コロナウイルス感染症対策や東京オリンピック・パラリンピック競技大会への対応等が大きく注目されました。

本区における投票率は56.93%となり、前回の都知事選と比べ4.77ポイント減でしたが、東京都全体の投票率（55.00%）や23区平均の投票率（54.91%）は上回りました。

期日前投票者数は合計60,866人となり、投票者全体に占める割合は25.87%と前回の都知事選よりも2.94%上昇しました。本区の投票者の4人に1人が期日前投票を利用したことになりますが、これは期日前投票制度が多くの人に認識されてきたことや、新型コロナウイルス感染症対策として区報やホームページ等で分散投票を呼び掛けた結果と捉えております。

若年層の投票率については、18歳が62.15%、19歳が48.88%、また20歳代が43.34%となっています。平成28年に執行された都知事選と比べて、各年齢層で5%～12%の増となっており、感染症流行下での都政に対する若年層の関心の高まりがうかがえます。

今回の都知事選は、不要不急の外出自粛が要請される中で準備を進め、街頭啓発の中止や当日投票所の管理人・立会人を職員に変更する等、新型コロナウイルス感染症対策に留意しての執行となりました。そのため大変難しい局面もございましたが、関係各位のご理解とご協力により、無事に選挙を終了することができました。

ここに心より感謝を申し上げます。

令和2年11月

江東区選挙管理委員会